

## 環境調査結果のお知らせ

### 概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大3細胞/mL確認されました。

柱状採水（0~10mの海水をひとまとめに採水）した海水においても、アレキサンドリウム属がヒロウラで0.02細胞/mL確認されました。

アレキサンドリウム属は、主に二枚貝（食用を含む）毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (mg/L)	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
A 藻津 (-/35.8m) 【09:08】	0	17.4	34.6	6.7	0	0
	2	17.5	34.7	6.7	0	0
	5	17.5	34.7	6.7	0	0
	★ 10	17.5	34.6	6.7	0	0
	15	17.5	34.6	6.7	-	-
	20	17.5	34.6	6.7	-	-
B 大島中央 (-/28.6m) 【09:18】	0	17.5	34.6	6.9	0	0
	5	17.5	34.7	6.9	0	0
	★ 10	17.5	34.7	6.9	0	0
	15	17.5	34.7	6.9	-	-
	20	17.5	34.7	6.9	-	-
C 小筑紫中央 (-/49.7m) 【09:27】	0	17.5	34.7	6.5	0	0
	5	17.5	34.7	6.5	0	0
	★ 10	17.5	34.7	6.5	0	0
	15	17.5	34.7	6.5	-	-
	20	17.5	34.7	6.5	-	-
D 栄喜 (-/-) 【09:49】	0	17.0	34.5	6.9	0	0
	5	17.3	34.7	7.0	0	0
	★ 10	17.3	34.7	6.9	0	0
E ヒロウラ (-/25.1m) 【10:14】	0	17.2	34.5	6.8	0	0
	★ 2	17.1	34.5	6.8	0	0
	5	17.3	34.6	6.7	0	0
	10	17.3	34.6	6.8	0	0
	15	17.3	34.6	6.7	-	-
	20	17.3	34.6	6.7	-	-
F 青瀬山 (-/16.2m) 【09:57】	0	17.0	33.6	7.3	0	0
	5	17.0	34.6	7.0	0	0
	10	17.0	34.6	7.1	0	2
	★ 11	16.9	34.6	7.1	0	3
	15	16.8	34.6	6.5	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

貝毒原因プランクトンのモニタリングのため、藻津及びヒロウラの0m、2m、5mの深度から採水した海水の濃縮検鏡を実施しています。

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：[https://kmi-nbras.pref.kochi.lg.jp](https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp))においてもご覧いただけます。

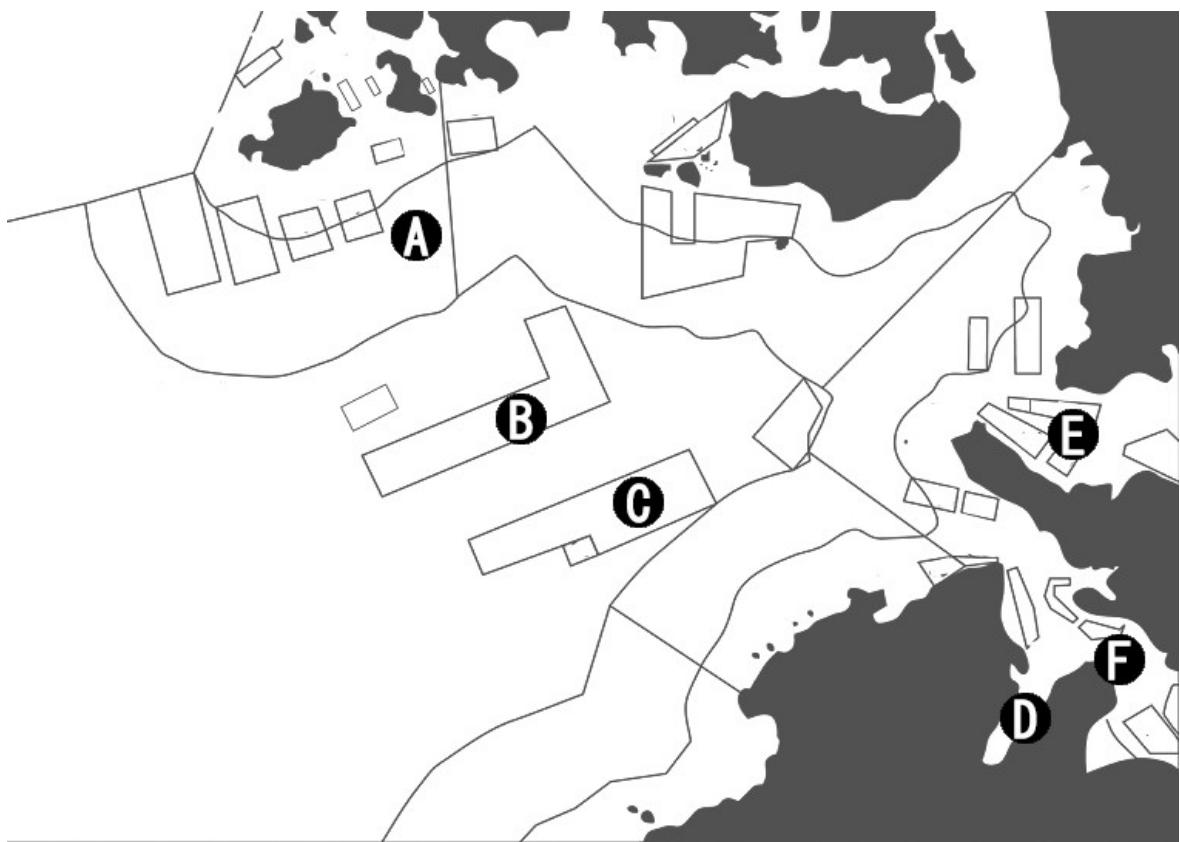
#### 参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	3～5月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 藻津

D: 栄喜

B: 大島中央

E: ヒロウラ

C: 小筑紫中央

F: 青瀬山